

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 7 区分  
 【発行日】平成28年3月10日 (2016.3.10)

【公開番号】特開2015-160699(P2015-160699A)  
 【公開日】平成27年9月7日 (2015.9.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2015-056  
 【出願番号】特願2014-36155(P2014-36155)  
 【国際特許分類】

**B 6 6 B 13/14 (2006.01)**

**B 6 6 B 3/00 (2006.01)**

【F I】

B 6 6 B 13/14 L

B 6 6 B 13/14 K

B 6 6 B 13/14 N

B 6 6 B 3/00 L

B 6 6 B 3/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月19日 (2016.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

乗りかご内を撮像する撮像部と、

前記撮像部によって撮像された映像に基づいて特定の状況変化を検知し、乗りかご扉の開閉切り替えの可否又は前記乗りかご扉の開閉異常を判断して該判断の結果に応じた制御を行う制御部と、

を備え、

前記制御部は、前記特定の状況変化として前記乗りかご扉の戸閉動作中に撮像された映像上で、前記乗りかご扉の戸閉動作を停止して戸開動作に切り替え、その後、戸開動作を停止して再び戸閉動作に切り替える戸開閉反転動作を所定の時間以上繰り返している場合に、前記乗りかご扉に開閉異常が発生していると判断して警告信号を出力することを特徴とするエレベータシステム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のエレベータシステムにおいて、

前記制御部は、前記特定の状況変化として前記乗りかご扉の戸閉動作中に乗降口について撮像された映像上の人の大きさが時々刻々大きくなった場合に、乗客が前記乗りかごに近づいていると判断して、前記乗りかご扉の戸閉動作を停止して戸開動作に切り替えることを特徴とするエレベータシステム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のエレベータシステムにおいて、

前記制御部は、前記特定の状況変化として前記乗りかご扉の全開時間を通常よりも長くした戸開延長中に撮像された映像上において前記乗りかご内で所定の時間以上人の動きが無い場合に、前記乗りかご扉を前記戸開延長の時間を短縮して戸閉動作に切り替えることを特徴とするエレベータシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係るエレベータシステムは、乗りがご内を撮像する撮像部と、前記撮像部によって撮像された映像に基づいて特定の状況変化を検知し、乗りがご扉の開閉切り替えの可否又は前記乗りがご扉の開閉異常を判断して該判断の結果に応じた制御を行う制御部と、を備え、前記制御部は、前記特定の状況変化として前記乗りがご扉の戸閉動作中に撮像された映像上で、前記乗りがご扉の戸閉動作を停止して戸開動作に切り替え、その後、戸開動作を停止して再び戸閉動作に切り替える戸開閉反転動作を所定の時間以上繰り返している場合に、前記乗りがご扉に開閉異常が発生していると判断して警告信号を出力することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】